

県民の友 5月号

(平成2年/1990年)

No.621

和歌山県知事公室 広報公聴課
発行 〒640 和歌山市小松原通1-1
☎0734(32)4111

5月のこよみ
●消費者月間 1日~31日
●児童福祉週間 5日~11日
●愛鳥週間 10日~16日
●水防月間 1日~31日

尾空港を離陸。
緊張と不安のなか、あつという間に紀
見峠を越え和歌山県に。整然と区画され
た橋本林間田園都市が眼下に広がる。高
度を上げ一気に高野山へ、さらに進路を
南へと向ける。深い谷間に花園村の大壁画
が色鮮やかに顔をのぞかせたかと思うと、
すでにヘリコプターは龍神村上空から果
無山脈を越えようとしている。中辺路か
ら本宮を左下に見、熊野川浴いにさらに
南へ。気が遠くなる程の大きな山塊を越
えてきたような気がする。まさに山の国
を実感。

不安全感もやわらいだ
頃、遠くに光るもののが
見える。海だ、太平洋
だ。新宮の街が海に浮
んだ夢の国のように見
える。足元は吸いこまれそうな青い海。
手の平に汗が……。勝浦、太地、古座
の海岸線を眼下に最南端潮岬に。まさし
くここは海の国だ。

機首を北に向け“すさぶ海”枯木灘を

北上。遠くに白浜空港が見え、そろそろ
ヘリのタンクは空に、給油と給食に着陸。

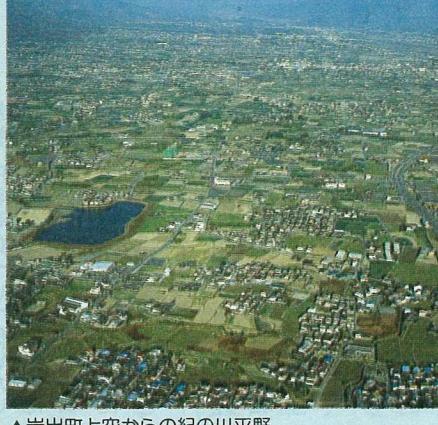
午後一時三十分再び離陸。田辺湾を越

え印南のビニールハウス群がきれいだ。

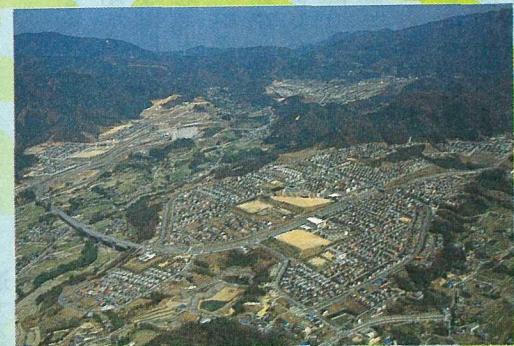
大きなうねりを見せながら流れる日高川、
有田川を越えると海南、和歌山の街が広
がり紀の川を上流へ、再び和泉山脈を越
え午後五時三十分無事着陸。

小さな種をまき、長い年月の暮らしが
紡ぐ山の国。果て知れぬ荒海にこぎ出す、
勇猛の海の国。「わかやま」を見たよう
な気がします。

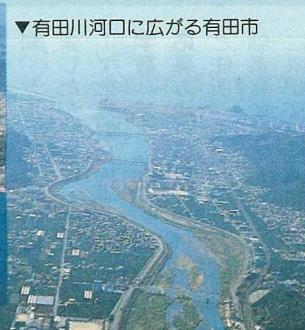
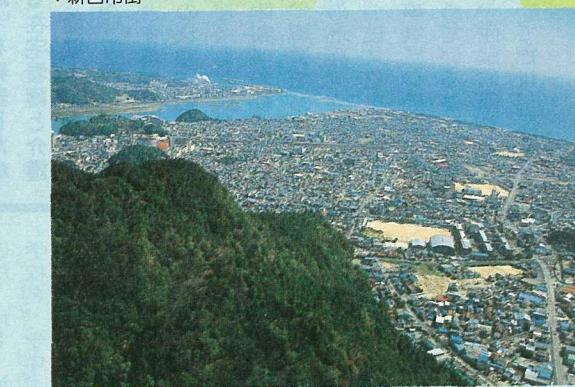
海 山 の 国



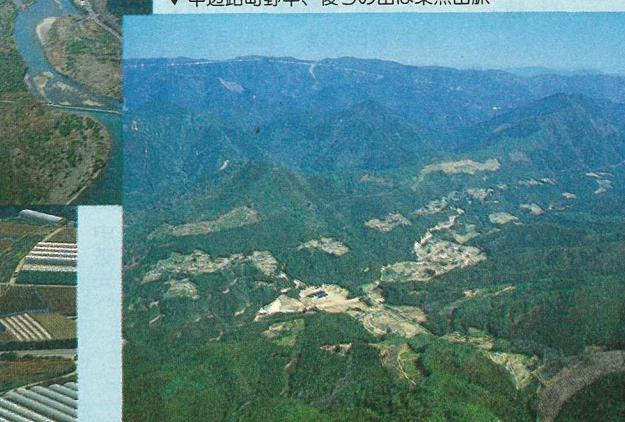
海 山 の 国



▼新宮市街

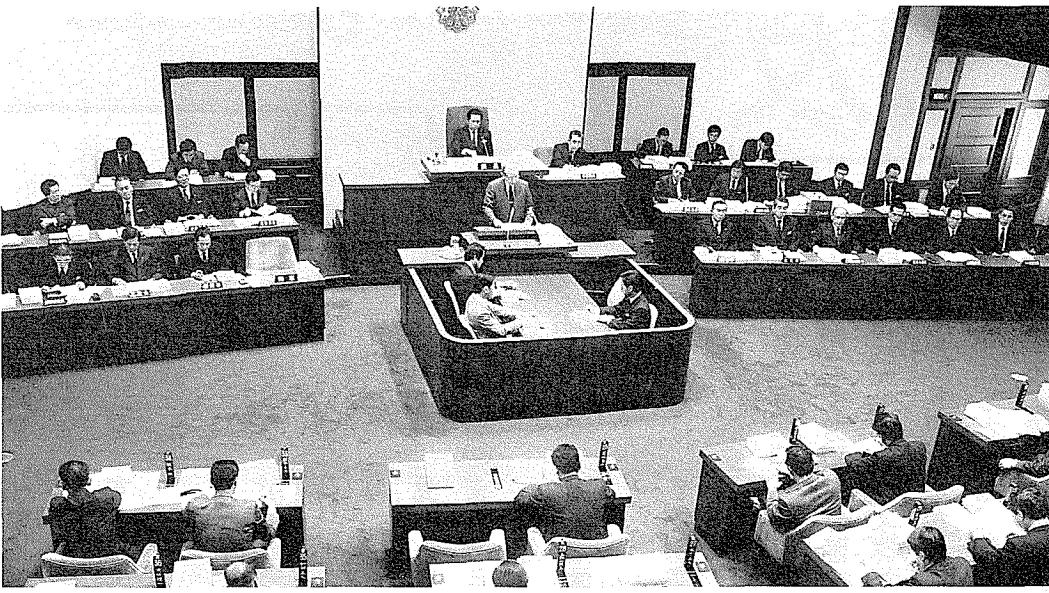


▼中辺路町野中、後の山は果無山脈



県議会だより
二月定例会より

平成二年度当初予算を可決 総額五千一十一億九千余万円



二月定例会は、二月二十八日から三月二十三日までの二十四日間にわたって開かれ、平成二年度一般会計四千二百一十七億九千余万円、特別会計六百六十九億五千余万円、企業会計百二十五億四千余万円の当初予算議案など七十議案について審議、原案どおり可決されました。知事専決処分報告四件については承認、また継続審査となつた昭和六十三年度歳入歳出決算についても認定されました。このほか、「港湾整備五箇年計画」の策定と推進に関する意見書「交通死亡事故防止対策の強化に関する意見書」「関西国際空港全体構想早期実現に関する意見書」「議員の政治姿勢と虚礼廃止に関する決議」が議決され、それぞれ関係機関に送付されました。

本会議では、二十人の議員が質問に立ち、平成二年度予算、関西国際空港問題、リゾート開発、土地対策、天神崎保全問題、原子力発電所問題、道路・港湾整備、環境保全と資源保護、企業誘致、J.R.問題、交通安全、観光振興、高齢者対策、農業問題、日の丸と君が代問題、世界リゾート博への取り組み、紀淡海峡トンネル、御坊田園テクノタウン構想、ふるさと創生事業、過疎対策、その他産業・福祉・教育等県政全般にわたり活発な論議が交わされました。

(要約抜き)

○平成二年度の予算編成にあたり、対前年度比八・九%増の伸び率を示すなど今回の予算編成にあたって特に留意した点は何か、また県単独事業に対する基本的な考え方はどうか。

平成二年度予算の編成にあたっての留意点は、今年度は、関西国際空港等の力強いインパクトを受けて、飛躍発展する時であると考え、予算編成にあたつても、福祉、健康、文化、教育化、企業誘致の推進等県勢活性化

○ウェルネス和歌山—世界リ

ソート博の開催意義、効果、規模、内容等について伺いたい。

この博覧会は、関西国際空港の開港を契機に、リゾート地域としての本県の持つ恵まれた自然、歴史、文化資源や産業などを和歌山の魅力を国内外にアピールするために開催するもので経済的波及効果をはじめ、地域のイメージアップによる観光客の増加や企業誘致の拡大、また、県民の連帯感の醸成や人づくりやまちづくり、さらには産業の活性化など多面的な効果をあげていきたい。特に、リゾートをテーマにした博覧会は、日本で初めてであり、それだけに体験、参加を通じてのおもしろさや楽しさ、また、博覧会ならではの夢、未来性などの内容についても、十分検討していただきたい。

会場は和歌山マリーナシティの第一工区約二十七ヘクタールを主会場として、パビリオン等の施設を配置し、さらに第二工区の一部を駐車場として活用するとともに、分散会場についても検討していく。また、交通対策については、来場される方がスマートに快適に入退場していただくために非常に重要なことであり、関係部局と検討しているところである。

○この程「高齢者保健福祉推進十カ年戦略」を発表したが、本県における在宅看護と介護体制の強化、地域ネットワークづくりについて伺いたい。

介護を必要とする高齢者に対し、その時々の状態に応じ、最も適切なサービスを選択、提供できるような体制づくりを行っていくことが、重要であると考えている。このため、介護の最も基本的なサービスである家庭奉仕員の派遣事業について、大幅な拡充を進めているところですが、さらに、住民に最も身近な市町村において福祉、保健、

教育、文化、スポーツ、医療等の分野で、より多くの高齢者が安心して暮らせる社会を目指して取り組んでまいります。

○平成五年の夏に開催される

「ソート博」の開催意義、効果、規模、内容等について伺いたい。

この博覧会は、関西国際空港の開港を契機に、リゾート地域としての本県の持つ恵まれた自然、歴史、文化資源や産業などを和歌山の魅力を国内外にアピールするために開催するもので経済的波及効果をはじめ、地域のイメージアップによる観光客の増加や企業誘致の拡大、また、県民の連帯感の醸成や人づくりやまちづくり、さらには産業の活性化など多面的な効果をあげたい。特に、リゾートをテーマにした博覧会は、日本で初めてであり、それだけに体験、参加を通じてのおもしろさや楽しさ、また、博覧会ならではの夢、未来性などの内容についても、十分検討していただきたい。

会場は和歌山マリーナシティの第一工区約二十七ヘクタールを主会場として、パビリオン等の施設を配置し、さらに第二工区の一部を駐車場として活用するとともに、分散会場についても検討していく。また、交通対策については、来場される方がスマートに快適に入退場していただくために非常に重要なことであり、関係部局と検討しているところである。

○この程「高齢者保健福祉推進十カ年戦略」を発表したが、本県における在宅看護と介護体制の強化、地域ネットワークづくりについて伺いたい。

介護を必要とする高齢者に対し、その時々の状態に応じ、最も適切なサービスを選択、提供できるような体制づくりを行っていくことが、重要であると考えている。このため、介護の最も基本的なサービスである家庭奉仕員の派遣事業について、大幅な拡充を進めているところですが、さらに、住民に最も身近な市町村において福祉、保健、

教育、文化、スポーツ、医療等の分野で、より多くの高齢者が安心して暮らせる社会を目指して取り組んでまいります。

○平成五年の夏に開催される

「ソート博」の開催意義、効果、規模、内容等について伺いたい。



県立古座高校で、生徒のみなさんがテーマやデザインを決め、昨年から製作していたモニュメント(記念碑)が完成しました。

これは「自分達の学校の象徴として何か自慢できるものを」という生徒のみなさんの熱意が実って建設したもの。

モニュメントは、高さ5.6m、25kgのステンレス柱5本を組みあわせたもので、若人の若竹の如く伸びゆく姿と集団の中でお互いに切磋琢磨している様子が表現されていて、「栄光」へ到達しようとする若者の叫びがきこえてきそうです。(古座町)

(川辺町)

目指すは 「国際人」



日高地方では初の私立高校として「和歌山国際海洋高校」が、四月一日、川辺町に開校しました。

海洋高校は男女共学の普通高校で、全寮制による二十四時間教育を通して、一人ひとりの個性を重視した教育が特徴。また国際化時代を支える人材を育成しようと、語学教育の充実に努める一方で、カナダにある分校への留学も予定されています。

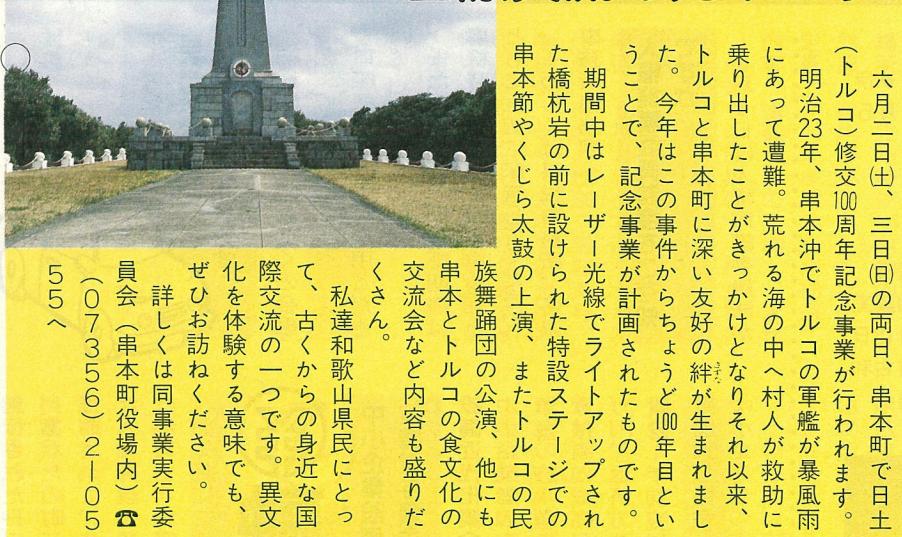
三三、〇〇〇平方メートルの広大な敷地に鉄筋三階建の校舎や講堂、男女寄宿舎も完備し、まわりの豊かな自然環境のなかで数多くの国際人が巣立っていくのが期待されています。

○ 案内 観光マップが



写真は紀伊大島に建つトルコ軍艦遭難碑

国際交流の先輩です



（トルコ）修交100周年記念事業が行われます。明治23年、串本沖でトルコの軍艦が暴風雨にあって遭難。荒れる海の中へ村人が救助に乗り出したことがきっかけとなりそれ以来、トルコと串本町に深い友好の絆が生まれました。今年はこの事件からちょうど100年目ということで、記念事業が計画されたものです。

六月二日(土)、三日(日)の両日、串本町で日土（トルコ）修交100周年記念事業が行われます。明治23年、串本沖でトルコの軍艦が暴風雨にあって遭難。荒れる海の中へ村人が救助に乗り出したことがきっかけとなりそれ以来、トルコと串本町に深い友好の絆が生まれました。今年はこの事件からちょうど100年目といふこと、記念事業が計画されたものです。

期間中はレーザー光線でライトアップされた橋杭岩の前に設けられた特設ステージでの串本節やくじら太鼓の上演、またトルコの民族舞踊団の公演、他にも

串本とトルコの食文化の交流会など内容も盛りだくさん。

詳しくは同事業実行委員会（串本町役場内）☎ (07356)2105

「栄光」のモニュメント完成



県立古座高校で、生徒のみなさんがテーマやデザインを決め、昨年から製作していたモニュメント(記念碑)が完成しました。

これは「自分達の学校の象徴として何か自慢できるものを」という生徒のみなさんの熱意が実って建設したもの。

モニュメントは、高さ5.6m、25kgのステンレス柱5本を組みあわせたもので、若人の若竹の如く伸びゆく姿と集団の中でお互いに切磋琢磨している様子が表現されていて、「栄光」へ到達しようとする若者の叫びがきこえてきそうです。(古座町)



四月七日、和歌山市民会館で「故松下幸之助翁を偲ぶ会」が開かれました。

松下さんが亡くなられてからはや一年、会場には生前の松下さんを偲んで約一、四〇〇人が集いました。全員が黙とうのあと、知事らの追悼のことば出席者代表によると、松下幸之助翁を偲ぶ会は、その愛情は、多くの県民の心に残され続けることでしょう。

故松下幸之助さんを偲んで

近現代の知識

近代医学黎明期の旗手

シリーズ 53

松山 棟庵



「静かな紀州に帰る

う安政六年、医学修業

の身にあつた二十一歳

の棟庵は、尊王攘夷に沸きたつ京都をあとにする。

天保十年（一八三九年）、那賀郡神田村（現・桃山町）に生まれ、父が地元の医師であった

ことから、幼少の頃から医学を志した。京都遊学を途中で打ち切った棟庵は郷里に帰り、その後六年間、漢書を読み、詩をつくるなど世俗とほぼ没交渉の生活を送るが、医学への情熱はさめず、二十八歳で上京。福沢諭吉塾の門をたたく。從来学んできた蘭学から英学への転向であった。

明治元年、アメリカで発刊された医学書をわざか二カ月で翻訳し「チフス新論」として発行。これが最初の英医学の翻訳である。

明治二年、当時紀州藩校の改革にあたっていた浜口梧陵は、福沢諭吉の推薦により棟庵を起用する。棟庵は浜口とともに和歌山市三木町に英語学校共立学舎を開設、紀州藩における英学教育に力を注いだ。

また、開業医たち相互の情報交換など開業医の団結の必要を感じた棟庵は、明治十年「東京開業医師集会」を創立する。現在の日本医師会のルーツである。

日本近代医学会の基礎固めに全力を尽した松山棟庵。大正八年、八十一歳、遺言により桃山町の先祖代々の墓地に眠る。

が き と

空青し山青し海青し

日はかがやかに

野山がいっせいに緑に色づき、一年中で

最も輝かしい季節となりました。「さつき」

は「幸月」が縮まととか……。

今月号から紙面を少し大きくしました。

また四月の人事異動でスタッフも変わりました。新しい紙面で新しいスタッフ、読みやすく親しまれる県民の友をめざし、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。